

令和 5 年度活動報告

地域おこし協力隊 高橋 俊介

経歴

新潟県新発田市出身。（鮭で有名な村上市の隣、農業地帯、勇壮な山車が出る夏祭りが有名）

職歴

旅行業、映像業界、インターネット業界に従事。

2010年ごろから観光マーケティング、地域振興に従事。

自治体様の観光振興政策立案等に携わる。

2016年より奈良県主催観光マーケティングコース講師
（～2018）

2019年より総務省地域力創造アドバイザー登録

2021年1月より筑西市地域おこし協力隊に着任
スパイスカレーと千葉ロッテを愛しています。

地域おこし協力隊着任時の活動テーマ

筑西市の強みである豊かな農産品を使った
地域の活性化

〈余ったり捨てられるモノを使って加工品を作る〉

100%梨で作った「梨の蜜」を使い筑西の梨をアピール

梨の蜜の特徴

- ・砂糖、保存料、増粘剤不使用
- ・常温保存が可能（開封前）
- ・糖度は約45度
- ・使用品種は幸水、豊水、新高
- ・一瓶約100ccで梨5～8個使用
- ・フードロスに取り組む（SDG's）



「梨の蜜」は新聞3紙に掲載

東京新聞
産経新聞
茨城新聞

地域おこし協力隊としての活動

筑西市の名産品「梨」を使った加工品の製造、原料製造。



筑西梨を使ったカレーの販売（店舗・イベント）



地域おこし協力隊 三年間の計画

- ◆1年目は地元ネットワークの構築
- ◆2年目はネットワークを生かし販売・情宣・商品開発を進める
- ◆3年目は上記の規模拡大を目指す。

地域おこし協力隊 三年間の計画

- ◆1年目は地元ネットワークの構築
- ◆2年目はネットワークを生かし販売・情宣・商品開発を進める
- ◆3年目は上記の規模拡大を目指す。

2023年、課題いかに生産量を増やすか？

2022年生産量

- ・原材料（廃棄梨） 約2トン
- ・生産量 梨の蜜 約50k
梨ペースト 70k

2023年生産量（目標）

- ・原材料（廃棄梨） 約3トン
- ・生産量 梨の蜜 約80k
梨ペースト 100k

**昨年対比
150%**

廃棄される梨とは？

傷み・歪み



小さい

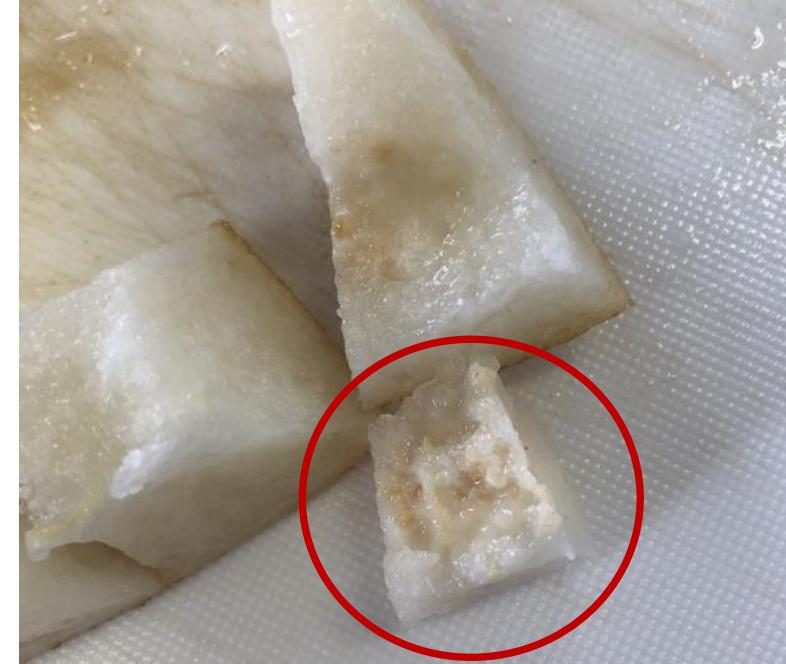


今年は異常気象で全体的に水分が少なくごわごわ

廃棄される梨とは？



外見からはほぼ分からぬ



木のように固い塊

ひたすら煮詰める

1時間



約5時間後



2023年、課題いかに生産量を増やすか？

課題は二つ

- ・作業員の確保 @1.3人 → 2人

午前中に時間のあるお母さんを募集

- ・冷蔵ストッカーの確保 → 60kg分の増加に対応

ペアーノに保管場所をお貸しいただき
冷凍ストッカーを設置

梨の加工スケジュール (1日)

2022年

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

準備

皮むき・荒おろし・絞り

粗熱とり・充填

片付け

加熱

仕入れ・廃棄・備品購入

2023年

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

準備

皮むき・荒おろし・絞り

粗熱とり・充填

片付け

加熱

加熱

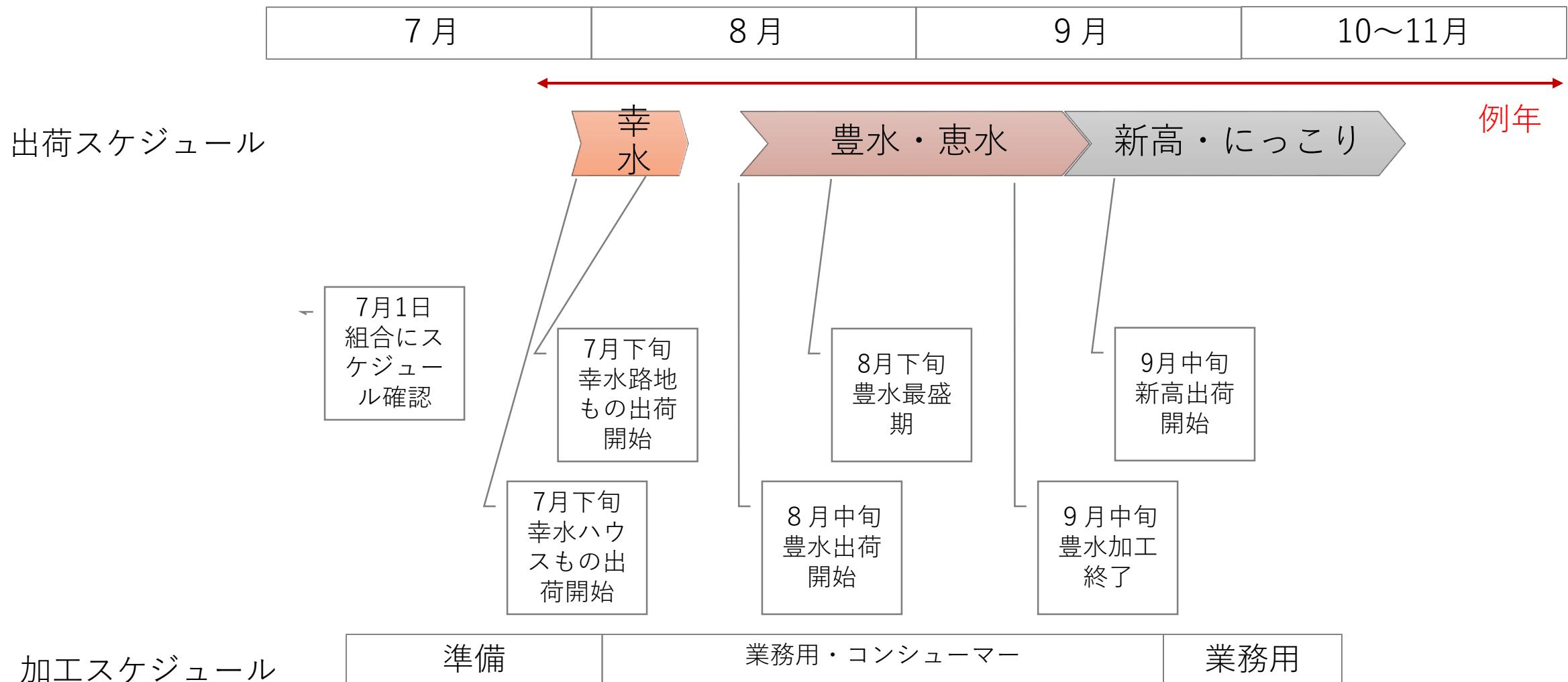
大型冷蔵庫導入

仕入れ・廃棄・備品購入

15h → 12hに短縮

梨の加工スケジュール (期間)

今年の異常気象でスケジュールは前倒し



結果

- ・原材料、生産物とも量的な目標はクリア。



年間を通して供給できる量を確保

昨年との課題の対比

- ・体力的に限界。
→作業時間が15時間から3時間削減。
- ・予算オーバー
→予算は時間短縮により微増で収まる。
- ・作業時間の増加
→作業時間は減ったが人力でやってる以上はこれ以上は無理。

これからの展開

①梨の水羊羹は通年販売



②真壁ひなまつりで「おもて梨カレードック」発売

③市内人気ラーメン店とコラボ

④ふるさと納税返礼品登録



イベント関連

【参加イベント】

- ・梨の花まつり
- ・南口さくらまつり よさこいイベント
- ・フードマルシェ
- ・紫陽花まつり
- ・ハロウインフェス
- ・下館商工まつり
- ・下館農協まつり
- ・スターライトファンタジー
- ・八千代マルシェ（毎月）
- ・吉沼マルシェ（随時）
- ・横浜筑西マルシェ（隔月）
- ・ふるさとまつり東京（2日間）
- ・高校生農業体験
- ・井上さつま収穫体験



イベント関連

①筑西市 → 横浜@すみれが丘マルシェ

2022年9月から2か月に1度開催。

1回の来場は2~300人

筑西市の特選野菜を紹介。



【目玉野菜】

1月 農家直送の冬野菜

5月 ピノガール

9月 筑西の梨（恵水）

3月 いばらキッス

7月 農家直送夏野菜

11月 井上さつま

イベント関連

①筑西市 → 横浜@すみれが丘マルシェ

【一番人気はいばらキッス】

開始前から行列ができる
開始30分で完売。



イベント関連

①筑西市 → 横浜@すみれが丘マルシェ

【隠れた人気商品も】

市場には出ない
サツマイモの茎
鉛筆状のサツマイモ



イベント関連

②首都圏 → 筑西市へ

井上さつま収穫体験



高校生農業体験



首都圏から延べ50人以上が参加。

イベント関連

②地域密着 南口さくら商店街として



南口さくら商店街のイベント、清掃活動（まちぴか）に参加。

次年度の活動目標

事業者としてやっていけるのか？